



大民謡流しで「黒埼よいとこ」と「新潟甚句」を歌う町民謡連盟副会長の間栄一さん（上山田・51歳）。「民謡流しには最初から参加してます。まつりに花火は大歓迎。私も酒屋組合として出しましたが、みんな気持ち良く出したのでは」。手前で太鼓を叩くのは駒沢輝雄さん（寺地）。

祭



ふれ太鼓で太鼓を叩く白井清治さん（小平方）は「ふれ太鼓の車が小さいな、もっと大きくないと。黒埼まつりもテレビで放映されるようにしなきゃ。来年からはぜひ」



ふれ太鼓で町じゅうを回った芸能保存会会長の深沢利英さん（小平方・75歳）は休憩に笛を一曲。「ようやく黒埼まつりが復活しました。町に明るいきざしが見えてきたようで、うれしい。ひさしぶりのふれ太鼓への反応も、皆さん、良かったなあ、って感じて見てたようです」。

夏は祭がよく

あなたと
町をつなぐ

広報

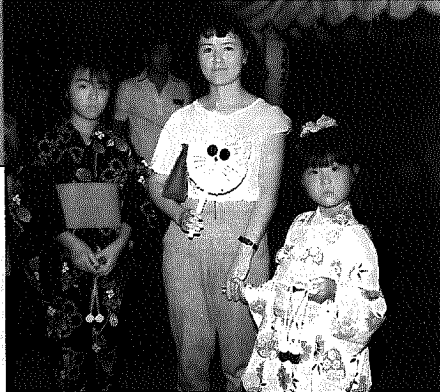
くろさき

1991

9

No.336

「花火を見に来ました」という黒川礼子さん（木場・写真中）とそのお子さんゆかりさん（小6・左）晶子さん（小1・右）。ゆかりさんと晶子さんはおまつり広場でアメリカン・クラッカーを買いました。「昼間は、友だちとおまつり広場を見に来ました」とゆかりさん。

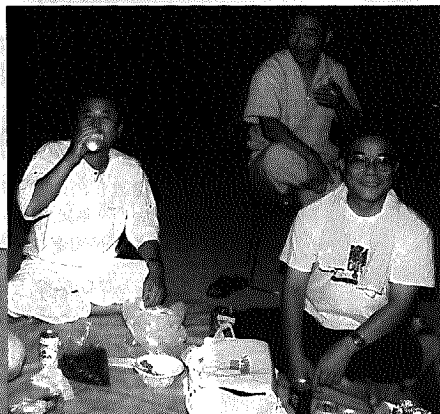


にあう



大民謡流しの舞台の飾りつけを手伝う佐藤平造さん（木場川前・67歳）。「民謡流しは土も下もなく、にぎやかにやるのがいい。この祭り、町全体で盛り上げるようにしたいね」

川口敬一さん（新潟市小新・47歳・写真左）は広川一義さん（興野・写真右）に誘われて花火大会を見に来ました。「新潟まつりに比べて、のんびり落ち着いて見られて、いいね。いい意味の田舎らしさがあるよ」。広川さんは「酒屋組合で花火をあげましたが、町の活性化に役立てば」。



'91夏
黒埼まつり